

Eclipseベース 統合開発環境 e2 studio V3.0.1.07へのリビジョンアップのお知らせ

統合開発環境 e2 studioをV3.0.0.22からV3.0.1.07にリビジョンアップしました。製品の概要は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.renesas.com/e2studio>

1. リビジョンアップ内容

以下の機能改善を行いました。

- (1) コード生成機能について、RX64Mグループに対応しました。
- (2) RX111、RX110およびRX64Mグループのコード生成機能の「端子配置表」において、ファイル保存機能を追加しました。

e2 studioのC/C++パースペクティブで、「端子配置表」ビューの左上アイコンをクリックすると、端子配置情報をCSV形式で保存することができます。

- (3) RX64Mグループ向けコードカバレッジ機能を新たに対応しました。

E20エミュレータ使用時に、RX64Mグループのe2 studioプロジェクトでデバッグパースペクティブの「Renesas Coverage」ビューから、コードカバレッジ情報を表示します。

「Renesas Coverage」ビューは以下の手順で表示できます。

1. 「ウィンドウ」メニューから、「ビューの表示」の「その他」を選択して、「ビューの表示」ダイアログボックスを開く。
2. 「ビューの表示」ダイアログボックスから、「デバッグ」の中の「Renesas Coverage」を選択する。

詳細は、e2 studioの「ヘルプ」メニューから、「ヘルプ目次」を選択して開く画面で「e2 studio カバレッジ・ビュー」をご覧ください。

その他の改善については、以下のURLからe2 studio V3.0.1.07 のリリースノートをご覧ください。(6月3日から掲載予定)

https://www.renesas.com/e2studio_document

2. アップデート方法

無償でオンラインアップデートできます。(6月2日からサービス開始予定)

e2 studio V3.0.0.22をインストールされている方は、e2 studioの「ヘルプ」メニューから「更新の検査」を選択し、自動アップデートしてください。

アップデートの後、e2 studioの「ヘルプ」メニューから「e2 studioについて」を選択して表示されるダイアログボックスで、e2 studioがV3.0.1.07にアップデートされていることを確認してください。

なお、V2.2以前のバージョンから V3.0.0.22以降のバージョンへの更新には自動アップデート機能は使用できません。

V2.2以前のバージョンをお使いの方は、以下のURLからV3.0.0.22のインストーラを入手し、V3.0.0.22をインストールしてからV3.0.1.07にアップデートしてください。

日本 (日本語サイト): (V3.0.0.22公開中)

https://www.renesas.com/e2studio_download

日本 (英語サイト) : (V3.0.0.22公開中)

https://www.renesas.com/e2studio_download

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。